

特別活動**「手話で歌おう、心を込めて」****大和市立緑野小学校****単元（題材）目標**

- ・ 全校児童が、手話に親しむ。
- ・ 手話が言語であることを意識し、心を込めて手話で歌う。

（１）実施時期

- ・ 11月上旬「感謝の集い（登下校ボランティアへ感謝する会）」
- ・ 7月上旬、11月下旬、2月中旬「音楽朝会」
- ・ 3月上旬・中旬「さよなら6年生」「お別れ式」

（２）対象（学年等・人数）

全児童 750名

（３）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：教務

（４）実施内容

- ・ 年間3回の音楽朝会では、3曲（虹・世界がひとつになるまで、きみとぼくのラララ）とも、すべて手話をしながら歌った。
- ・ 音楽朝会以外の式や行事で、音楽朝会で練習した歌に取り組んだ。

（５）成果

- ・ 音楽委員会の児童が、全校児童の前で手話を披露するため、特に熱心に取り組んだ。朝会の時には指導した総括教諭と共に舞台上で手話を行った。
- ・ 指導した総括教諭は全クラスへ指導に行ったので、理解が深まり、朝会の時には大変上手にできた。
- ・ 特に4年生では国語の教材に取り組むときに、手話の動きを覚えていたので、先行経験として役立った。また、総合学習で福祉をテーマに取り組み、講師として聴覚障害のある方をお呼びした時も、手話の歌に取り組んだ経験が役立った。
- ・ はっきりと口を開けて歌うと同時に、柔らかな表情と優しい動きで手話をするよう指導し、手話は言語であることを意識させた。
- ・ 全校児童が1年間通して取り組んだことで、手話に慣れ親しむことができた。